

平成28年度（29年3月期） 第1四半期連結決算概要

平成28年7月29日
東京瓦斯株式会社

1.平成28年度 第1四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント 減収減益：減収は2期連続、減益は3期ぶり（純利益ベース）。

ガス販売量	+66百万m ³ : 発電用などの需要増
売上高	△1,116億円 : 原料費調整に伴う単価減などによる「都市ガス」の売上減 △915億円 : LNG販売、ガス器具販売など「エネルギー関連」の売上減 △211億円
営業費用	△642億円 : 原油価格下落影響などによるガス原材料費減 △628億円（当期1,049←前期1,677）
営業外損益	+12億円 : 為替差損益 +4億円、受取配当金 +4億円
特別損益	+29億円 : (当期) 投資有価証券売却益 +29億円 : (前期) なし

<28年6月末現在連結会社数：連結子会社66社、持分法適用関連会社7社>

(単位:億円)

決算実績表	28年度1Q	27年度1Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	3,604	3,538	66	1.8
売上高	3,757	4,873	△ 1,116	△ 22.9
営業費用	3,286	3,928	△ 642	△ 16.3
営業利益	471	945	△ 474	△ 50.2
経常利益	472	933	△ 461	△ 49.5
親会社株主に帰属する当期純利益	391	734	△ 343	△ 46.6

経済フレーム	28年度1Q	27年度1Q	増減
為替レート(¥/\$)	108.16	121.43	△ 13.27
原油価格(\$/bbl)	41.09	59.59	△ 18.50
平均気温(°C)(※)	17.3	17.6	△ 0.3

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したものを。

(2)ガス販売量

		28年度1Q	27年度1Q	増減	%	
ガス販売量	お客さま件数	千件	11,418	11,285	133	1.2
	家庭用	百万m ³	828	821	7	0.8
		百万m ³	578	593	△ 15	△ 2.5
	工業用	百万m ³	1,691	1,656	35	2.1
	計	百万m ³	2,269	2,249	20	0.9
	他事業者向供給	百万m ³	507	468	39	8.3
合計	百万m ³	3,604	3,538	66	1.8	

家庭用 : 低気温影響およびガスのご使用日数増等による給湯需要増
 業務用 : 既存のお客さまの使用量減
 工業用 : 発電用需要増
 他事業者向供給 : 供給先事業者の需要増

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	28年度1Q	27年度1Q	増減	%	28年度1Q	27年度1Q	増減	%
都市ガス	2,568	3,483	△ 915	△ 26.3	501	876	△ 375	△ 42.8
電力	273	296	△ 23	△ 7.8	3	33	△ 30	△ 90.2
海外	73	85	△ 12	△ 14.0	12	28	△ 16	△ 57.8
エネルギー関連	1,007	1,218	△ 211	△ 17.3	46	88	△ 42	△ 47.7
不動産	100	97	3	3.5	22	17	5	22.7
その他	188	172	16	9.1	2	6	△ 4	△ 69.3
調整額	△ 454	△ 479	25	-	△ 109	△ 100	△ 9	-
連結	3,757	4,873	△ 1,116	△ 22.9	477	950	△ 473	△ 49.7

(注) ・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。
 ・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
 ・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エンジニアリング、エネルギーサービス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4)主要計数

(単位:億円, %)

	28年度1Q	27年度1Q	増減		28年度1Q	27年度1Q	増減
設備投資	389	349	40	D/Eレシオ	0.63	0.65	△ 0.02
営業キャッシュ・フロー	784	1,067	△ 283	ROA	1.8	3.3	△ 1.5
有利子負債	6,729	7,157	△ 428	ROE	3.6	6.7	△ 3.1

(注) 有利子負債、D/Eレシオは28年3月末との比較

2.平成28年度 通期見通し <対前回(4.28)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回 増収・利益見通し変更なし(対前期 減収減益)

ガス販売量	△42百万m ³ : 高気温による家庭用の販売量減等、6月までの実績差を反映
売上高	+100億円 : 都市ガス+45億円(売上単価増)、電力+40億円(販売量増等)他
営業費用	+100億円 : 都市ガス+78億円(原材料費単価増)、電力+28億円(販売量増等)他 : 前提となる2Q以降の経済フレームを変更 : 為替レート: 115円/\$→105円/\$、原油価格: 2Q 35\$/bbl・3Q以降 40\$/bbl→45\$/bbl

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	27年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,556	15,598	△ 42	△ 0.3	15,436	120	0.8
売上高	15,910	15,810	100	0.6	18,846	△ 2,936	△ 15.6
営業費用	15,430	15,330	100	0.7	16,926	△ 1,496	△ 8.8
営業利益	480	480	0	0.0	1,920	△ 1,440	△ 75.0
経常利益	400	400	0	0.0	1,888	△ 1,488	△ 78.8
親会社株主に帰属する当期純利益	350	350	0	0.0	1,119	△ 769	△ 68.7

経済フレーム	28年度	27年度	増減
為替レート(¥/\$)	105.79	120.17	△ 14.38
原油価格(\$/bbl)	44.02	48.73	△ 4.71
平均気温(°C)	16.1	16.6	△ 0.5

為替・原油変動のガス粗利影響感度(2Q以降)	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	24	32	△ 8
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	29	44	△ 15